

平成 26 年度 教育実践総合センター活動概要

1. 構成員

センター長（併任）：教授 栗原慎二

専任教員：

《学校教育相談実践部門》

教授 栗原慎二 教授 岡 直樹

特任助教 エリクソン・ユキコ

《教育実践研究開発部門》

准教授（実務家教員） 竹谷浩子

事務補佐員：竹ノ中亜由美

2. センターの概要

二つの部門を設置し、学校や教育委員会等の教育・行政機関や地域と連携を図りながら次のような活動を行っています。

教育実践研究開発部門では、高い専門性と優れた指導力を持つ教員を養成するための教育事業や研究・カリキュラム開発を行うとともに、学校の実践研究に対するコンサルテーションも行っています。学校教育相談実践部門では、現在の学校教育が抱える問題を解決・予防するための研究や、相談・支援活動を行っています。平成 18 年度から学校心理教育相談室（ここにこルーム）を設置し、学習や生徒指導・研究相談にかかわる心理教育的支援、学校心理学に関する教育・研究を行うとともに、学校心理学に関する研修の機会を提供しています。

3. 学内での年間活動状況

(1) 各構成員の主な担当授業

①教育学部

○教職入門 ○教育課程論 ○教育方法・技術論 ○子どもの心と学び支援実習Ⅰ・Ⅱ

○生徒・進路指導論 ○小学校教育実習入門 ○小学校教育実習観察

○小学校教育実習A・Ⅰ ○地域教育実践Ⅰ・Ⅱ ○教育実践演習 他

②大学院教育学研究科

○学習開発基礎課題研究 ○学習支援論特講・演習 ○心理教育的アセスメント演習

○学習開発講究 ○生徒指導・教育相談の理論と実践 ○学校カウンセリング論演習

○学校カウンセリング論特講 他

(2) 主催・共催による公開講演会・シンポジウム・研究会等の活動

子どもの心と学び支援セミナー

①「6人の熱き教師！ミニ実践発表」対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生

期日：平成 26 年 5 月 17 日（土） 場所：比治山大学 5 号館 207・208 教室

講師：馬越美帆（岡山県井原市立井原小学校）・空田由美（廿日市市立四季が丘小学校）・和田都（愛媛県四国中央市立中曾根小学校）・津山裕美（広島市立公立小学校）・來須真紀（広島市立公立小学校）・内野剛（廿日市市立四季が丘小学校）

②「インクルージョン教育のあり方」対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生

期日：平成 26 年 7 月 5 日（土） 場所：広島市青少年センター 第三集会室

講師：バーンズ 亀山 静子（ニューヨーク市公認スクールサイコロジスト）

③「国際生徒指導シンポジウム 2014：環太平洋地域における生徒指導の新しい提案－プログラムの実際と教師の力量形成－」対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生

期日：平成 26 年 7 月 26 日（土）・27 日（日） 場所：比治山大学 5 号館

基調講演：大槻達也（国立教育政策研究所 所長），レイモンド・チャン（広島大学 客員

教授)

シンポジスト：Prof. Tam Vicky C. W. (香港浸會大学), Ms. Chan Ka Pik (樂善堂劉徳学校), Dr. Lam Kin Wing (澳門大學), Prof. Wang Li-fei, (国立台湾師範大学) Ms. Wang Ya Fen (台湾市学生カウンセラー), バーンズ亀山静子 (NY州認定スクール・サイコロジスト), 中川優子 (ホワイトリースクール 教員), 米沢 崇 (広島大学)

- ④「非行問題を考える Part II」対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生
期日：平成26年9月13日(土) 場所：比治山大学6号館201教室
講師：栗原慎二(広島大学)・吉田雅幸(大阪市立公立小学校)・八川 慎一(広島市立公立中学校)
- ⑤「大規模災害後の子どものメンタルヘルスサポート」
対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生
期日：平成26年11月13日(木) 場所：広島大学教育学研究科L205講義室
講師：Justin Kenardy (オーストラリア，クイーンズランド大学医学部・心理学部 教授)，Robyne Le Broque (オーストラリア 障害リハビリテーション国立研究センター 上級研究員)
- ⑥「生徒・保護者との信頼関係形—やるべきこと，やってはいけないこと—」
対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生
期日：平成26年11月29日(土) 場所：比治山大学6号館201教室
講師：チャン・レイモンド(広島大学 客員教授)
- ⑦「協同学習」 対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生
期日：平成27年1月17日(土) 場所：西区民文化センター 大広間
講師：安保 優子(三原市立第三中学校)，中村 浩一 他(広島市立五日市南中学校)，栗原慎二(広島大学)
- ⑧「教師と子どもの認知のズレ」対象：教職志望の大学生・大学院生
期日：平成27年1月14日(水) 場所：広島大学教育学部 第三・四会議室
講師：前田一誠(広島大学附属小学校)
- ⑨「楽器をとおした子どもの理解」対象：教職志望の大学生・大学院生
期日：平成27年1月28日(水) 場所：広島大学教育学部 第三・四会議室
講師：谷本仰(南小倉バプテスト教会)
- ⑩「4月からの学級経営に活かせる4つの技(ワークショップ)・アセスメント理論に基づく学級経営」 対象：現職教員，教職志望の大学生・大学院生
期日：平成27年3月22日(日) 場所：比治山大学6号館 2階
講師：杉田郁代(比治山大学)・谷田寿幸(広島こども療育センター心療部)・津山裕美(広島市小学校通級指導教室)・山崎茜(広島大学大学院)・神垣幸一(広島市立公立中学校)・栗原慎二(広島大学)・他

教員養成講座 対象：教職志望の大学生・大学院生

- ①「教員採用試験に向けて～「生徒指導」を切り口に～」 期日：平成26年7月3日(木)
講師：竹谷浩子(広島大学〔実務家教員〕) 場所：広島大学教育学部L304-1
- ②「教育現場に巣立つ皆様へ～教員生活のスタートを充実させるために～」
期日：平成27年2月5日(木) 場所：広島大学教育学部L304-1
講師：竹谷浩子(広島大学〔実務家教員〕)

4. 対外的な教育・研究活動状況

(1) センター専任教員による学外講演等の活動

- ①生徒指導・教育相談，認知カウンセリング，学習支援，アセスメント等に係る講演・演習指導

期間：通年（160回） 対象：主に教員，保護者 人数：約7500名

② 独立行政法人教員研修センター中央研修会

期日：7/4, 9/18, 1/19 場所：独立行政法人教員研修センター 人数：300名

③ 「総社市不登校対策研修会」総社市教育委員会 人数：約1000名

期日：4/25, 6/30, 7/1, 8/19, 8/20, 8/25, 8/26, 10/28, 11/17, 11/18, 11/25, 12/2, 3/6

④ 「小中一貫教育の推進～学ぶ意欲を高める学習指導の在り方—言語活動の充実と生徒指導の三機能を生かす指導方法の工夫を通して—」他 人数：約80名

福山市立済美中学校及び同校区内小中学校教職員研修 期日：7/9, 7/29, 9/22, 10/31

⑤ 「生徒のやる気を引き出す授業改善」他 人数：約40名

世羅町立甲山中学校教育研究会，校内研修 期日：6/24, 8/21, 9/26, 10/10

⑥ 「他者とのかわりの中で思考力・表現力を高める児童の育成～主体的に学び取る力を育てる算数科の指導を通して～」庄原市立永末小学校，校内研修 期日：7/2 人数：約15名

⑦ 「子供の思考力・表現力の育成をめざして」 人数：約40名

庄原市立川北小学校，校内研修 期日：11/28

⑧ 「ネット社会の危うさとルール作り」 人数：約80名

福山市立神辺小学校，教育講演会 期日：1/23

(2) 研究活動

センタープロジェクト研究

① 岡山県総社市との協力に基づく共同研究

「マルチレベルアプローチによる生徒指導改革の研究」

② 「日本版包括的アプローチと生徒指導・教育相談研修プログラムの開発的研究」

平成26年度教育学研究科共同研究プロジェクト

「子どもの学び支援プロジェクトの教育的効果」

平成25-26年度教員研修センター委託事業「教員研修モデルカリキュラム開発プログラム」採択

「学び続ける教員の基礎・基盤構築する初任者研修支援プログラムの開発—教育委員会・発行・大学で初任者を支えることを目指して—」

5. 教育・社会貢献事業

(1) にこにこルーム（学校心理教育支援室）

《学習相談》にこにこルームの学習相談に参加した学生は49名。

① 前期（2014年5月14日から2014年7月30日）水曜日の活動

東広島市内の小学校14校から4年生以上の児童14名を抽選で選び、5月14日から7月30日までの計11回、毎週水曜日に認知カウンセリングとレクリエーションのセッションを行った。時間は、17時30分から19時20分までの110分。セッション終了後、毎回ケース検討会を行った。また、火曜日にも児童・生徒4名の認知カウンセリングを60分行った。

② 後期（2014年11月5日から2015年2月4日）水曜日の活動

東広島市内の小学校14校から4年生以上の児童15名を抽選で選び、11月5日から2月4日までの計10回、毎週水曜日に認知カウンセリングとレクリエーションのセッションを行った。時間は、17時30分から19時20分までの110分行った。セッション終了後、毎回ケース検討会を行った。また、前期3名、後期5名の児童・生徒に対して60分の個別認知カウンセリングを、毎週火曜日に行った。

③ 夏休み・春休み

2014年8月4日・5日の2日間、1回あたり60分、前期の学習相談に参加した小学生3名・

中学生2名を対象に認知カウンセリング（サマー・セッション）を行った。また、昨年からの取り組みとして、2014年8月3日から5日の3日間、サマースクールを実施した。参加者は小学5年生を対象として公募し、算数・理科の授業や学習の仕方についての授業を学生（大学院1年生1名、3年生2名、2年生5名）が行った。

2015年2月12日から14日の3日間に後期の学習相談に参加した学生9名に認知カウンセリング（スプリング・セッション）を行った。

④その他の活動

2014年10月から2015年1月の間に、5名（述べ5名）の学生が広島市内の公立高校にて学習支援を行った。2014年4月から2015年2月の間に、毎週土・日曜日、7名の学生が東広島市内の児童養護施設にて学習支援を行った。2014年4月から2015年2月、毎週木曜日又は金曜日に4名の学生が東広島市内の公立小学校にて学習支援を行った。2014年6月から12月の間の6日、広島市内で行われた農業体験活動（キャンプ）に学生ボランティアとして7名の学生が参加した。

にこにこ広島ルームでは、にこにこルーム個別学習相談窓口にて受け付けた小学生・中学生の児童・生徒2名に対して、国語・算数・英語の認知カウンセリングを30-60分行った（教科・時間についてはそれぞれの相談のニーズにあわせて決定した）。

《学校臨床相談》

一年間を通じて臨床心理士と大学院生の学生支援員による学校臨床相談活動を実施した。1回の面接は50分で、原則10回～15回を上限とした回数限定でカウンセリング、ソーシャル・スキル・トレーニング等を行った。学生支援員が担当するケースの判別は臨床心理士が行い、インテーク面接の実施後、学生が児童生徒の面接を担当した。

①にこにこ広島ルーム臨床相談（毎週土曜日） 広島ルームでの支援員は1名。

広島市内の相談室において、毎週土曜日（10:00～16:30）に完全予約制で相談活動を行った。来談件数は5件で、延べ相談件数は27回であった（2/25現在）。相談に訪れたケースは小学校5年生～高校3年生までで、不登校および不登校傾向に関する相談、いじめに関する相談、発達障害に関する相談等が中心であった。

②にこにこ東広島ルーム臨床相談（毎週日曜日） 東広島ルームの支援員は2名。

広島大学キャンパス内の相談室において、毎週日曜日（10:00～17:30）に完全予約制で相談活動を行った。来談件数は8件で、延べ相談件数は40回であった（2/25現在）。相談に訪れたケースは小学校3年生～中学校2年生までで、不登校および不登校傾向に関する相談、いじめに関する相談、発達障害に関する相談、その他精神症状に関する相談であった。

③定期ケース検討会（木曜日 18:00～20:30） 延べ25回

前期・後期共に定期ケース検討会を実施した。参加学生はあらかじめ登録した29名で、臨床心理士及び学生支援員の担当するケースの事例検討会を行った。また、事例検討会に合わせて勉強会を実施し、学級経営、児童・生徒のアセスメント、カウンセリング基本技法、ソーシャル・スキル・トレーニング技法等についての勉強会を実施した。

④学校ボランティア実習

広島市内の小学校・中学校・高校、または、生活保護世帯の学習支援事業等においてボランティア実習（最低5回以上）をおこなった。学生は学校現場などで様々な困難を抱えた児童・生徒の学習や心理的支援をとおして授業で学んだことを実践している。毎回の実習後にレポートを提出し、教員2名によりフィードバックをうける。

《学習相談・学校臨床相談合同の活動》

①広島土砂災害被災地支援

2014年8月豪雨による広島市の土砂災害への支援として2014年9月12日から10月8日までの間、学部1年から博士課程1年の学生計23名が被災した小学校にて学校生活および

学習への支援を行った。支援実働日数は14日で延べ参加者数は88名であった。

③集団ソーシャル・スキル・トレーニング&学習カウンセリング

地域の児童・生徒を対象に2014年11月20日～2015年1月29日まで、計5回、集団ソーシャル・スキル・トレーニング（以下SST）と認知カウンセリングを行った。参加者は対人関係の苦手な子どもや発達障害の傾向のある児童・生徒で、期間中の木曜18:00～20:00に集団SSTと個別学習支援を行った。前半・後半の2グループ（小学校4年生～6年生10名、小学校6年生～中学校2年生6名）に別れ、SSTは学校臨床相談の学生（大学院生4名と学部生11名）が担当し、認知カウンセリングは学習相談担当の学生（学部生9名）が担当し、学生により各活動内容が計画・実施され、教員の指導のもと行われた。

(2) 学校コンサルテーション活動

概要：学校での生徒指導・教育相談に関するコンサルテーション

時期：通年（50回） 対象：教員および保護者等 人数：延べ約120名

(3) フレンドシップ事業「ゆかいな土曜日」

教育実践総合センターの教員をはじめ学内委員17名及び下見地区の地域の方等の学外委員10名から成るフレンドシップ事業運営委員会を組織し、「地域教育実践Ⅰ・Ⅱ」の授業として通年で開講した。2014年6月から2015年2月の間、年間6回の活動、シンポジウム1回を行った。活動時間帯は、午前10時から午後4時。参加学生は、受講学生と単位を必要としないボランティア学生の計72名。児童は東広島市立小学校35校から募集した98名。児童8～9名と学生4～5名で1班とし、12班を編成、チェンジ（3班）、アイデア（3班）、あそび（3班）、手作り（3班）の4グループでグループ活動や畑での栽培活動、餅つきなどの活動を行った。

(4) 学外から委嘱された委員等

- ・文部科学省「不登校生徒に関する追跡調査研究会」委員
- ・一般社団法人学校心理士認定運営機構認定委員会副委員長
- ・NPO広島産業カウンセリング研究会自由区顧問
- ・日本心理学会専門別議員（第1部門）
- ・日本学校教育相談学会広島支部長
- ・日本学校教育相談学会論文審査協力委員
- ・東広島市青少年問題協議会委員
- ・財団法人こども教育支援財団ディレクター
- ・日本ピア・サポート学会研究紀要委員長
- ・東広島市教育委員会学校教育レベルアッププラン推進委員会委員

6. 研究紀要の刊行

- ・学校教育実践学研究（第21巻）の刊行